

radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへ
ようこそ

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

Camnet マガジンをお楽しみにの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は昨年度から、岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤めています。ワーク・ライフ・バランスも一層整う感じになって、自然と仲良くしています。

このコラムについては、二か月分なのでリアルタイムでは、様子をお伝え出来ません。なので、赴任してから、散歩をしたり、県北を中心にあちこちを訪れたりしました。

新庄村の様子や 2021 年の県北散策を紹介します。



2021 年秋、津山まなびの鉄道館にて。転車台。



2021 年晩秋に家族で鏡野町の奥津溪に。



新庄村のがいせん桜通りの作樂も・・秋色



この転車台は因美線美作河合駅の遺産。因幡からの除雪車がここで方向転換。



12 月に入ると霜が。



そして 12 月に入ると降雪の新庄村。



新庄村歴史民俗資料館の雪景色。



大晦日は新庄村産のお蕎麦で。

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「旅」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。

……………

もう どのくらい 歩いてきた

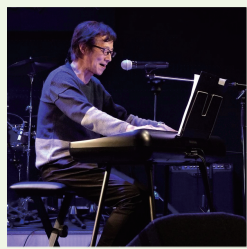
二人 こんな 重たい カバン抱えて

振り返らない 立ち止まらない
行方 知れない 旅さ
おやすみ あなた 星を見て 泣かないで
明日の涙は 明日 流せば いいさ
移ろい易い 風にかかせ
二人の旅は 明日また 始まる

小指が少し ささくれても
頬に 残る 涙の 跡を隠して
言葉にしても 変わらないなら
誓い 薄れる 旅さ
おやすみ あなた 月灯り 隠れたら
明日の涙は 明日 流せば いいさ
やけにかさつく 肌を寄せて
二人の旅は 明日また 始まる

頼りなげな そのまなざし
二人 いつも 優しさだけを 支えに
傷付け合って 慰め合って
終わり 知れない 旅さ
おやすみ あなた 倅せの 夢を見て
明日の涙は 明日 流せば いいさ
後どのくらい 歩いてゆく
二人の旅は 明日また 始まる

二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいますが、疫病収束さらに国際平和を祈念しています。



プロフィール
大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

新庄村国保診療所で内科医師として勤務
0歳:京都市福知山市にて生誕
14歳:京都市中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳:倉敷市に転居
15&18歳:NHKあなたのメロディー出演
18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳:川崎医科大学卒業
以降:川崎医科大学血液内科〜衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年:米国留学(医学研究)
1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る